

アレッツォ (Arezzo)

アレッツォはトスカーナ州の中央にある人口 10 万人の大きな街です。ミラノのプラダはこの街の出身です。また、ドレミを発明したガイド・モナコもこの街の出身です。ガイドと言えば、名画「ライフイズビューティフル」の主演のお父さんの名前もガイドでした。そうなのです。アレッツォの街は「ライフイズビューティフル」の舞台となった街なのです。この街に一度は来たいと思ったのも、「ライフイズビューティフル」の舞台となったこの街、即ち、ガイドが“ブオン・ジョルノ、プリンチペッサ”と言ったのはどこなのかを確認したい気持ちだけでした。その思いが、ルッカ、アッシジと観光して疲れているにも関わらず、途中下車してこの街に降り立たせたのです。

アレッツォもエトルリア人が築いた街で、12 のエトルリア人が築いた重要な街（ドデカポリス）の一つとされています。エトルリアの街であった証として、有名な 2 つのブロンズ像（BC 5 世紀の Chimera of Arezzo と BC 4 世紀の Minerva）が発見されています。紀元前 311 年にローマの支配下に入り、西ローマ帝国滅亡後はゴート族ロンゴバルド族の侵略を受けて、ローマ時代の遺構は、円形闘技場以外全て破壊されてしまいました。しかし、11 世紀の終わりには自治都市として独立して繁栄し、皇帝派と教皇派の戦いでは、敵対する教皇派のフィレンツェに対抗して皇帝派としてフィレンツェと戦ったのですが、1384 年に敗れて、トスカーナ大公国の中に取り込まれて自治権も失ってしまいました。その後、ナポレオンの支配を経て 1860 年にイタリア王国に組み込まれました。

アレッツォの駅を降りると、アレッツォのメインストリートであるイタリア通りを直進して、登り勾配を真っ直ぐにグランデ広場に向かいました。この広場は、ガイドが“ブオン・ジョルノ、プリンチペッサ”と言ったところの一つです。グランデ広場の脇にもそのことが書かれているパネルがありました。「ライフイズビューティフル」から離れて、この広場を良く見ると、グランデ広場は 13-15 世紀に建てられた歴史的建造物の宮殿に囲まれているのです。なかなか素晴らしい広場だったのです。広場には傾斜があり、ここをガイドが自転車で走りぬけたシーンを思い出させてくれました。



このグランデ広場は、ロマネスク様式のピエーヴェ・ディ・サンタ・マリア教会の裏手にあります。この教会には 40 ものアーチを持つ正面ファサードがあります。ルッカで見たピサ・ルッカ様式の連続回廊アーチと同じものです。やはり、トスカーナでは、ロマネスク建築でもミラノとは大分違って装飾性が強いようです。グランデ広場から見ると裏にあたるピエーヴェ・ディ・サンタ・マリア教会が面したイタリア通り周辺は、ブランド店も少なくなり、逆に如何にも古い宮殿があります。教会と宮殿の間を真っ直ぐ

に進むと、右側にはポルチコがありグランデ広場まで繋がっています。その先の右正面には城壁の一角と思われるような歴史的な建物とその遺構があり、その城壁の先の向こうには緑豊かな公園が見えます。また、そこを道なりに左に曲がると今度はカテドラーレが見えてきます。教会以外の建物は何かわかりませんが、この一角がアレツォの街の中で一番魅力があるところではないかと感じました。



さて、グランデ広場にある「ライフイズビューティフル」のパネルから上り坂を歩いて行きますと、あの特別に大きな城壁とその横に緑の木が生い茂る公園が見えてきます。この公園は先ほどイタリア通りから見えた公園で、ここでは涼しさを求めてやってきた人たちが憩いのひと時を過ごしています。



この公園は城壁の内側に位置していて、公園からは雄大に連なる城壁を見ることが出来、このアレツ

ツォの街が城壁に囲まれていたことを実感する場所でもあります。公園の横にある特別に大きい城壁は、フォルテツァと呼ばれる城壁に繋がった五角形の要塞です。この城壁の上も公園になっているのですが、今は工事中で入れませんでした。この上から見渡すアレツォの街はきれいだと思います。



公園の直ぐ横にはアレツォのカテドラーレが見えます。アレツォのカテドラーレは大きくて立派です。この大聖堂は14世紀に建てられたゴシック建築で、この中には2つの貴重なモニュメントがあります。一つは入口の左奥にある礼拝堂の中にある青と白の陶磁で作られたキリストの十字架像です。もう一つは正面の祭壇に向かって左の壁にあるピエロ・デッラ・フランチェスコの描いたマグダラのマリアのフレスコ画です。こんな美しい顔をしたマグダラのマリアは初めてです。



ここまで来るとアレツォを見直さざるを得ません。もう、「ライフイズビューティフル」だけがこの街に来たかった理由とは恥ずかしくて言うことが出来ません。この街も素晴らしい街でした。まさに、イタリア、畏るべしですね。アレツォには 2 つのツアリスト・インフォメーションがあり、互いに競い合っているようです。両方に顔を出したのですが、競争しているためか、両方とも非常に親切に説明してくれます。その説明によると、アレツォの街の中にはフレスコ画で有名な教会が 2 つあります。一つは、カテドラーレに近い、小さいが 13 世紀に建てられたゴシック建築のサン・ドメニコ教会です。この教会の中に入ると、ダメージはあるものの壁に描かれたたくさんのフレスコ画にはびっくりします。但し、教会内部が暗いのでうまく写真が撮れません。



もう一つは、駅とカテドラーレのちょうど中間にある 14 世紀に建てられ 15 世紀に拡張されているサン・フランチェスコ教会です。ここでは入場料を払えばガイド付きツアーも受けられます。しかし、教会内は撮影禁止だったのですが、全く知らずに写真を撮ってしまったので、バツが悪くてガイド付きツアーは遠慮しました。この教会もほとんど全面がフレスコ画で、特に、後陣にあるピエロ・デッラ・フランチェスコのフレスコ画が有名らしいのです。これらのフレスコ画に対して、ツアリスト・インフォメーションにはフレスコ画だけのガイドも置いてあるくらいプロモーションに力を入れています。興味はあるのですが、深みにはまる時間ありませんので、この 2 つの教会を見るに留めるしかありませんでした。



2 つの教会を見た後に、最後に、駅に近いところにあるローマ時代の円形闘技場の遺跡を見に行きました。この円形闘技場は完全に遺跡です。但し、仮設の舞台が設けられてあり、定期的に、ここで

野外ステージを行っているようです。



この街に関しては、「ライフイズビューティフル」しか頭になく、その他のことにはほとんど期待していなかったのですが、この街も素晴らしいイタリアの街でした。見所もいっぱいです。本当は、それらに加えて、「ライフイズビューティフル」があったのです。期待を大幅に上回ったこの街が、これまで以上に好きな街になったようです。最後にグランデ広場のスナップ写真をつけます。



アッシジからアレッツォまでは1時間半弱（6.2ユーロ）です。アレッツォの街の中心までは駅から歩いて10分はかかりません。バスに乗らないので無駄な時間がかからず、時間を有効に使えます。ですから、途中寄り道の観光でしたが、十分に満足出来ました。

アレッツォとフィレンツェ間は、アッシジ・フィレンツェ間の2時間間隔の列車に加えてアレッツォ・フィレンツェ間の列車がありますので1時間間隔に列車があります。アレッツォ・フィレンツェ間は所要時間1時間強で料金は5.7ユーロです。フィレンツェではサンタ・マリア・ノヴェーラ駅に発着しますので、ミラノ行きのユーロスターとの乗り換えも非常に楽です。フィレンツェからミラノ中央駅まではご存知のように、1時間間隔でユーロスターがあり、所要時間1時間45分で料金は52ユーロです。ですから、アレッツォには、簡単に行くことが出来るのです。もちろん、日帰り旅行も楽に出来る街だったのです。

この時期は、週末の夕方や夜の列車は非常に混んでいますので、フィレンツェからミラノに戻るユーロスターは予約をしておいたほうが無難です。